



# 『こうちょうしつから こんにちは』

No. 3

平成25年10月1日

文責 青森市立葺町小学校

校長 木村 文江



すでに、学級通信等で、その時の様子をご家庭に届いていることと思いますが、9月20日(金)、葺町小学校恒例の全校遠足がありました。お家の方が作ってくださったお弁当が入ったリュックを背負い、全校児童が2台のバスに分乗し、一路、『青森県民の森：梵珠山』へ！天気は、晴れ！絶好の遠足日和となりました。

梵珠山では、登山、川遊び、昆虫採集、ボール遊び、自由遊び等々と、いろいろな体験をしてきました。今回は、その中の登山のことについて、少しお知らせしたいと思います。



登山は、縦割班ごとに2列で進みます。班長さんが、手早く列を整えてくれたので、程なくスタートできました。1年生の傍には、さり気なく6年生がついてくれていました。

登山の最中、私の携帯電話のベルが鳴りました。学校からで、数日後に予定されていた防災訓練のことでした。私は、歩きながら電話を耳に当てていたのですが、ときどき、4年生のA君が腕を引っ張ってくれているのがわかりました。

電話が終わると、「校長先生、道が下りになっていますよ。」と、A君が声をかけてくれました。電話をしている間に、山道は、上りから下りへと変わっていたのです。そして、A君は、電話をしながら山道を歩いていた私のことを心配してくれていたのです。その後も、A君は、自分の隣にいる2年生と私を気にかけてながら歩いてくれました。心からのやさしさが伝わってきました。

そして、いよいよゴ〜〜ル！しかし、最後の班が到着して間もなく、「2回目、行きますよ。今度は今の2倍(の距離)です！」という、先導役の先生の明るい声が聞こえてきました。(そっ、そうだったのか、あと2倍歩くんだ！)テレビのお笑い番組を見ているような場面展開に思わず吹き出してしまいました。

後半の登山では、じわりじわりと遅れはじめる子どもたちが出てきました。すると、上級生が下級生の手を引っ張って歩いてくれたり、励ましの声を掛けてあげたり、辛そうにしている子へ枯れ枝を折って杖の代わりに渡してあげたりしている姿が、あちらこちらで見られました。

全校児童が同じ距離を歩いたのですから、下級生もたいしたものです。特に1年生はがんばりました。毎日の体力づくりの成果でもあります。

かくして、葺町小学校児童56名は、およそ100分間の登山を1人の脱落者も出すことなく、みんなで歩き通したのです。

その後に食べたお弁当がおいしかったことは、言うまでもありません。ありがとうございました。



## 【9月20日全校遠足より】



【はじめの会：  
楽しい遠足にするためのお話】



【養護教諭の先生から  
ハチへの対策を伝授】



【登山開始：  
低学年を高学年が守ります】



【児童全員が予定の行程を  
自分の足で歩き通しました】



【お腹ぺこぺこ、  
お弁当、おいしかった！】



【天気に恵まれ、川遊びも最高！  
ビーチサンダルが役にたちました】



【いろんな虫や両生類に興味津々】



【終わりの会：各学年代表者の感想発表】



【『青森県民の森：梵珠山』を後に学校へ】